



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

東

上場会社名 株式会社タクマ 上場取引所
 コード番号 6013 URL <http://www.takuma.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 隆昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 泉 雅彦 (TEL) 06-6483-2610
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	42,139	13.7	2,479	120.2	3,181	81.6	2,819	92.9
25年3月期第2四半期	37,071	△9.4	1,125	700.0	1,751	201.4	1,461	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,421百万円(423.7%) 25年3月期第2四半期 653百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	34	10	—	—
25年3月期第2四半期	17	67	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	102,181	36.8	37,890	36.8	—	—
25年3月期	106,753	32.2	34,652	32.2	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 37,651百万円 25年3月期 34,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	95,000	△1.4	8,000	28.2	9,000	25.6	8,000	30.2	96	76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料の5ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期2Q	87,799,248株	25年3月期	87,799,248株
26年3月期2Q	5,120,955株	25年3月期	5,120,836株
26年3月期2Q	82,678,384株	25年3月期2Q	82,684,370株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要や緊急経済対策から公共投資は引き続き増加しており、円高の是正を背景に輸出が持ち直し傾向にあるほか、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の3本の矢を推進するアベノミクスへの期待などから、個人消費も底堅く推移しており、緩やかに回復しつつあります。

このような経済情勢の下で、再生可能エネルギーによる電力の固定価格買取制度により、ごみ発電をはじめとした廃棄物処理プラント、木質バイオマスなどを燃料とするバイオマス発電プラントといった当社グループの主要製品には旺盛な需要が見られます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、ごみ処理施設の建設工事、基幹改良工事、運転・維持管理などを順調に受注したほか、バイオマス発電設備を相次いで受注しており、受注高は69,913百万円と前年同期に比べ19,359百万円(38.3%)の増加となりました。

売上高については42,139百万円となり、ごみ処理施設の基幹改良工事が大きく進捗したことなどから前年同期に比べ5,067百万円(13.7%)の増加となりました。また、受注残高は118,788百万円となりました。

損益面においては、営業利益は2,479百万円、経常利益は3,181百万円、四半期純利益は2,819百万円となり、売上高が増加したほか原価率も低減したことから前年同期に比べそれぞれ1,353百万円(120.2%)、1,430百万円(81.6%)、1,358百万円(92.9%)の大幅な増加となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の事業形態として、上半期に比較して下半期が多くなる傾向にあります。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	売上高	営業損益	受注残高
環境・エネルギー(国内)事業	55,891	30,232	2,968	107,080
環境・エネルギー(海外)事業	584	908	△100	1,489
民生熱エネルギー事業	9,379	8,289	455	5,621
設備・システム事業	4,852	3,073	△75	5,035
計	70,708	42,503	3,248	119,226
調整額	△794	△364	△769	△437
合計	69,913	42,139	2,479	118,788

① 環境・エネルギー(国内)事業

ごみ処理施設の建設工事、基幹改良工事、運転・維持管理などを順調に受注したほか、バイオマス発電設備を相次いで受注しており、受注高は55,891百万円と前年同期に比べ19,332百万円(52.9%)の増加となりました。

売上高は30,232百万円となり、ごみ処理施設の基幹改良工事などが大きく進捗したことなどから前年同期に比べ5,084百万円(20.2%)の増加となりました。

損益面では、営業利益2,968百万円と前年同期に比べ1,118百万円(60.5%)の増加となりました。

② 環境・エネルギー(海外)事業

東南アジアにおいて製糖業のプラント設置にかかる許認可手続きが依然として停滞しており、受注高は584百万円と前年同期に比べ823百万円(58.5%)の減少となりました。

売上高は908百万円と前年同期に比べ1,038百万円(53.3%)の減少となりました。

損益面では、前年同期の営業利益111百万円から100百万円の営業損失となりました。

③ 民生熱エネルギー事業

積極的な営業活動の展開により、貫流ボイラの受注が増加したほか高効率な真空式温水機などの受注もあり、受注高は9,379百万円と前年同期に比べ232百万円(2.5%)の増加となりました。

売上高は8,289百万円と前年同期に比べ763百万円(10.1%)の増加となりました。

損益面では、前年同期の営業損失6百万円から455百万円の営業利益となりました。

④ 設備・システム事業

建築設備の受注が増加したほか半導体産業用設備の受注も増加しており、受注高は4,852百万円と前年同期に比べ1,147百万円(31.0%)の増加となりました。

売上高は3,073百万円と前年同期に比べ429百万円(16.3%)の増加となりました。

損益面では、営業損失75百万円と前年同期に比べ9百万円の悪化となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内においては、廃棄物処理プラントではごみ処理施設の更新や延命化により、またバイオマス発電プラントではエネルギー政策が追い風となり、これらの需要が引き続き見込まれておりますが、海外においては、東南アジアでの需要が、停滞している製糖業のプラント設置にかかる許認可手続きの動向次第となっております。一方で、アベノミクスへの期待などから景気も緩やかに回復しているなか、公共投資の増加や為替相場での円安などにより、資機材価格、工事価格の上昇が懸念されるところです。

このような状況の下、当社グループの平成26年3月期の連結業績につきましては、平成25年3月期から引き続きバイオマス発電設備を受注しているほか、ごみ処理施設建設工事なども順調に受注しておりますが、これらが大きく進捗するのは平成27年3月期以降となることから、売上高は従前の予想どおり95,000百万円と平成25年3月期を僅かながら下回る見通しです。損益面では、リスク管理、コスト管理の徹底による収益確保、原価低減の効果などから従前の予想を上方修正し、営業利益は8,000百万円、経常利益は9,000百万円、当期純利益は8,000百万円といずれも平成25年3月期を上回る見通しであります。また、業績予想の修正につきまして、本日(平成25年11月12日)「業績予想の修正に関するお知らせ」として開示しております。

なお、当社グループの事業では、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけての進捗、引渡しが多くなる傾向にあり、業績においても第4四半期の売上高が他の四半期と比較して著しく大きくなるなど季節的変動が大きいことから、業績管理については年次のみで行うこととしております。

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,689	34,855
受取手形及び売掛金	43,478	27,522
有価証券	5	—
たな卸資産	3,723	5,385
その他	4,100	4,536
貸倒引当金	△62	△60
流動資産合計	77,935	72,239
固定資産		
有形固定資産	11,667	12,015
無形固定資産	232	247
投資その他の資産		
投資有価証券	11,680	12,899
その他	5,822	5,364
貸倒引当金	△585	△585
投資その他の資産合計	16,917	17,678
固定資産合計	28,818	29,941
資産合計	106,753	102,181

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,631	22,469
短期借入金	13,670	12,901
未払法人税等	698	272
賞与引当金	1,729	1,609
その他の引当金	1,738	1,789
その他	8,490	12,044
流動負債合計	56,959	51,086
固定負債		
長期借入金	6,571	4,907
退職給付引当金	6,930	7,094
役員退職慰労引当金	209	202
負ののれん	883	492
その他	546	508
固定負債合計	15,141	13,204
負債合計	72,100	64,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,840	3,840
利益剰余金	19,376	22,030
自己株式	△3,604	△3,604
株主資本合計	32,980	35,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,479	2,080
繰延ヘッジ損益	△5	△26
為替換算調整勘定	△67	△37
その他の包括利益累計額合計	1,406	2,016
少数株主持分	265	239
純資産合計	34,652	37,890
負債純資産合計	106,753	102,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
売上高	37,071	42,139
売上原価	29,126	32,874
売上総利益	7,944	9,264
販売費及び一般管理費	6,818	6,785
営業利益	1,125	2,479
営業外収益		
受取利息	44	40
受取配当金	231	146
持分法による投資利益	191	223
負ののれん償却額	406	391
その他	93	91
営業外収益合計	967	894
営業外費用		
支払利息	240	159
その他	101	31
営業外費用合計	341	191
経常利益	1,751	3,181
特別損失		
投資有価証券評価損	28	—
ゴルフ会員権評価損	9	—
特別損失合計	37	—
税金等調整前四半期純利益	1,714	3,181
法人税等	246	369
少数株主損益調整前四半期純利益	1,467	2,812
少数株主利益又は少数株主損失(△)	6	△7
四半期純利益	1,461	2,819

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,467	2,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△758	601
繰延ヘッジ損益	△30	△39
為替換算調整勘定	△25	46
その他の包括利益合計	△814	608
四半期包括利益	653	3,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	668	3,429
少数株主に係る四半期包括利益	△14	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,714	3,181
減価償却費	416	421
のれん償却額	127	—
負ののれん償却額	△406	△391
投資有価証券評価損益 (△は益)	28	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△68	△120
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△469	50
退職負債の増減額 (△は減少)	199	133
受取利息及び受取配当金	△275	△187
支払利息	240	159
持分法による投資損益 (△は益)	△191	△223
売上債権の増減額 (△は増加)	29,247	20,090
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△648	△1,657
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△762	△337
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,337	△8,127
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△202	△811
その他	△18	△36
小計	17,590	12,142
利息及び配当金の受取額	563	365
利息の支払額	△232	△162
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△49	△1,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,871	11,341
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	150	53
有形固定資産の取得による支出	△202	△403
無形固定資産の取得による支出	△12	△45
投資有価証券の取得による支出	△0	△300
投資有価証券の売却による収入	67	—
貸付けによる支出	△135	△50
貸付金の回収による収入	110	160
その他	17	53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3	△531

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,300	△280
長期借入れによる収入	—	90
長期借入金の返済による支出	△2,098	△2,242
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△165	△165
少数株主への配当金の支払額	△46	△18
その他	△28	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,641	△2,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	43
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,218	8,206
現金及び現金同等物の期首残高	17,384	26,004
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	80	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,683	34,211

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,996	1,946	7,493	2,634	37,071	—	37,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	151	0	32	8	193	△193	—
計	25,147	1,946	7,526	2,643	37,264	△193	37,071
セグメント利益又は損失(△)	1,850	111	△6	△65	1,889	△763	1,125

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△763百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△849百万円及びその他の調整額85百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,042	908	8,227	2,961	42,139	—	42,139
セグメント間の内部売上高 又は振替高	190	—	62	111	364	△364	—
計	30,232	908	8,289	3,073	42,503	△364	42,139
セグメント利益又は損失(△)	2,968	△100	455	△75	3,248	△769	2,479

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△769百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△846百万円及びその他の調整額76百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。